

各位

全3ページ  
登録速報(2025-069)  
2025年3月10日  
クミアイ化学工業株式会社  
企画普及部普及課

## 登録速報

下記の通り、注意事項変更届けを提出しましたので、ご連絡します。

提出日：2025年3月5日

(注意事項は届けを提出した段階で、登録変更となります)

## 記

### 1 農薬の登録番号及び名称

登録番号： 第10791号

名称： クミアイダイアジノン粒剤5

### 2 受付年月日

令和 7年 3月5日

### 3 変更を生じた事項及び変更の内容

1) 農薬登録申請書第8項に(7)として以下の注意事項を追加し、以降を繰り下げ別紙のとおりとする。

(7) みずかけな(水掛菜)に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用后14日間は入水しないこと。

2) 農薬登録申請書第8項の(1)及び(2)②を以下のとおり変更し、別紙のとおりとする。

(変更前)

(1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。

(2) ② 植付前又は播種前に土壌全面又は作条に処理し、土壌とよく混和すること。(以下略)

(変更後)

(1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。

(2) ② 植付前又はは種前に土壌全面又は作条に処理し、土壌とよく混和すること。(以下略)

#### 4 変更の理由

水系作物を適用に含むため注意事項を追加する。

また、適切な表記に変更する。

## 8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (2) 畑作物の土壌害虫防除に使用する場合は下記の事項に注意すること。
  - ① 使用薬量は全面処理の場合の薬量であるので、作条処理の場合は処理面積に応じて薬量を減ずること。
  - ② 植付前又はは種前に土壌全面又は作条に処理し、土壌とよく混和すること。なお、タネバエおよびコガネムシ類幼虫に対して作物の生育期に使用する場合は作条処理し軽く覆土すること。
- (3) とうもろこしのアワノメイガの防除に使用する場合には、出来るだけ穂、茎葉にかかるように散布すること。
- (4) とうもろこし及び飼料用とうもろこしに茎葉散布する場合には、部分的に薬剤が集まると薬害を生じるおそれがあるので、葉の付け根など1ヶ所に固まることのないように均一に散布すること。降雨や朝露などで葉上に水滴があると薬害を助長するので、朝夕や降雨の前後には使用しないこと。
- (5) 芝のシバツトガ、スジキリヨトウ、シバオサゾウムシの防除に使用する場合、土壌表面、芝表面にまきむらのないように散布すること。
- (6) 畑わさびのワサビクダアザミウマの防除に使用する場合は、越冬成虫出現期～第一世代幼虫最盛期に散布すること。
- (7) みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用後14日間は入水しないこと。
- (8) ビニールハウス等の同一施設内において、収穫期が異なる作物を栽培している場合、本剤を土壌表面散布で使用しないこと。
- (9) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
  - ② 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (10) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。